



天守台の石垣は約30年前まで埋まっていたそうです。発掘調査した結果、湿地帯という土地に建てるための木材を使った国内最古級の基礎が見つかったそうです。

明智光秀は、近江国平定の拠点となった坂本城を築き、付近の石垣積み技能集団「八太衆」を雇った築城の名人で、丹波平定のため丹波、丹後地域にも数々の城を築きました。田辺城の築城にも関与したことがうかがえる資料が郷土資料館に残されています。書かれた年代はは

冷静な判断で細川家を守った幽斎
明智光秀は、近江国平定の拠点となった坂本城を築き、付近の石垣積み技能集団「八太衆」を雇った築城の名人で、丹波平定のため丹波、丹後地域にも数々の城を築きました。田辺城の築城にも関与したことがうかがえる資料が郷土資料館に残されています。書かれた年代はは

下を配置。自身の隠居の城として田辺の海辺に平城「田辺城」を築きました。当時は戦国時代。平地は攻められやすく、山城の方が戦には向いています。なぜ、この場所を選んだのでしょうか？
信長による天下平定がまもなく完成するとみたら藤孝は、戦向きの山城ではなく、京都一帯城、盟友光秀の坂本城や亀山城（亀岡）、秀吉の長浜城のように、平野に城を築き、商業や手工業などを重視した城下町を発展させる平和で豊かな時代がくると読んだと考えられます。

きりしませんが、**獄家文書**のなかに次のような記述があります。「藤孝の長男細川忠興、明智家老の溝尾庄兵衛らが清道峠に差し掛かったとき、つがいの鶴が円満寺村の方角に飛んでいくので馬で追いかけて、鶴が舞い降りたところに光秀が城の縄張りをした。また、桂林寺の門前に「明智屋敷」という伝承地があり、連絡役の光秀配下の者が住んでいたと考えられています。

信長の筆頭部将であった明智光秀の配下に甘んじていた細川藤孝は、平和で商業重視の城下町を目指した田辺城築城の只中、本能寺の変の一報を聞くと、誓を切って信長に弔意を表し、中立を決断。家督を忠興に譲って出家し、幽斎・玄旨と名乗り田辺城に隠居しました。政略結婚と言われる忠興の妻・玉（ガラシヤ）は、光秀の娘であり、主君を殺した謀反人の娘となってしまう。忠興も父に倣って誓を切り、ついには玉を味土野に幽閉したのでした。

夏休み限定イベントであなたも「ブラリ」

夏休み期間に合わせて、各館が子どもも楽しめるイベントを実施します。あなたも「ブラリ」まいづるを巡って、秘話満載のまいづる歴史ストーリーを解き明かしてみませんか？

◆引揚記念館

《館内語り部ツアー》8月23日(日)まで毎日11時から館内を語り部が案内する「引き揚げてなかに?」。当日15分前から同館内時鐘前で受け付け。参加者には記念館オリジナルペンをプレゼント。

《引揚クイズラリー》8月23日まで。館内タイムトンネル前にクイズシートを設置。参加者には「引き揚げの日」バッジをプレゼント。

◆赤れんが博物館

《ミュージアムトーク》8月8日(土)～10日(月)・12日(水)・13日(木)11時35分から13時35分。館内の展示を職員が解説しながら巡る。各30分間。

《れんがなぜクイズラリー》8月23日まで。クイズ参加者にはバッジをプレゼント。小学生対象。

◆田辺城資料館

《田辺城を知ろう おはなし会》8月8日～10日・13日・14日(金)10時～10時30分。館長・学芸員が田辺城のこ

とを解説。

《舞鶴の宝ものを知ろう!クイズラリー》8月23日まで。参加者にはバッジをプレゼント。

◆郷土資料館(ふるさと発見館)

《郷土資料館を知ろう!》8月8日～10日・13日・14日15時～15時30分。館長・学芸員が舞鶴の歴史を解説。

《ふるさと発見!クイズラリー》8月23日まで。参加者にはバッジをプレゼント。



▲各館とも家族で楽しめるやさしい講座を用意



古地図を見ると「うなぎの寝床」状の家並みがびっしり。実際、市街地を見てみると、町の境界には江戸時代からの石組みが残っています。なんと、水を吸い上げてしまう現代のコンクリートの基礎よりも優れているんだとか。



▲西舞鶴のジオラマから地形を知る

幽斎の思惑と大規模な土木事業
織田信長の命令で丹後国を平定した細川藤孝は、1580(天正8)年、宮津の八幡山城に入った。まもなく海辺に新たな平城「宮津城」を築きたいと信長に願い出たところ、明智光秀とよく相談して築城するようにと指示を受けたとい

また、本丸付近の地下には、つけ替え

下を配置。自身の隠居の城として田辺の海辺に平城「田辺城」を築きました。当時は戦国時代。平地は攻められやすく、山城の方が戦には向いています。なぜ、この場所を選んだのでしょうか？
信長による天下平定がまもなく完成するとみたら藤孝は、戦向きの山城ではなく、京都一帯城、盟友光秀の坂本城や亀山城（亀岡）、秀吉の長浜城のように、平野に城を築き、商業や手工業などを重視した城下町を発展させる平和で豊かな時代がくると読んだと考えられます。

大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場する細川家の城下町として栄えた西舞鶴。しかし、当時の西舞鶴は海抜の低い湿地帯。なぜこの場所を選んだのか。そして「明智光秀」との関わりとは。地形と細川幽斎(藤孝)の思惑からその秘密に迫ります。

田辺城はなぜ西舞鶴に築かれた?

ブラリの合間にひと休み

まいづる満喫クーポンには「遊覧船のチケット」と「Buy Local maizuru加盟店などで使える1,000円分のチケット」が付いています。遊覧船からは護衛艦ひゅうがなどの大型の艦船が入れる大型のドライドックや直線約900mにもなる北吸岸壁などを船員の解説付きで見ることができます。そして忘れてはいけないフィールドワークこそ「地元のうまいもん」探しです。せっかくのクーポン、気になるけどまだ行ったことのないお店やカレーなど海軍ゆかりのグルメ、そして天然の良港舞鶴湾の海の幸など、隠れた名店を探してみてください。

